

江戸川区立瑞江小学校 図画工作科 3年 評価基準

時間数 ページ	学習指導 要領との 関連	図画工作科を通し て育てたい力	題材名	題材の課題・目標	題材の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点（規準）	B評価の基準	A評価の基準	用具・材料
2-4時間 教科書 p.8-9	A表現(2) ア、イ、 ウ (絵) B鑑賞(1) ア、イ	 造形表現活動の快 さや楽しさを経験 させ、心を開く	絵の具と水の ハーマニー	「絵の具遊びから思いついた絵をかいたのしむ」ことを通して、心を開き、楽しく活動する力を培う	自分の好きな色を水彩絵の具でつくり、画面に思いのままに筆をふるう。筆の跡、点や線、面などの形や色、強弱などの筆致で生まれるリズム、水を加えることで生まれる色やにじみの変化のおもしろさなど、自分の表したい感じや思いついたことをかいて楽しむ内容である。 〔共通事項〕との関連 絵の具を使って自由にかく活動を通して、形や色、組み合わせなどの感じをとらえ、これをもとに自分のイメージをもつ。	関 ：水彩絵の具でいろいろなかき方を試し、形や色でかく快さを味わい楽しむ。 発 ：好きな形や色、筆でかく快さなどから思いを広げて、表したい感じを考えている。 創 ：形や色、筆触の違いなどから様々な感じを生み出すことを工夫している。 鑑 ：自分や友達との活動のよさやおもしろさに気づき、話し合う。	関 ：水彩絵の具でいろいろなかき方を試し、形や色でかく快さを味わい楽しんでいる。 発 ：好きな形や色、筆でかく快さなどから意欲的に思いを広げて、表したい感じなどをよく考えている。 創 ：形や色、筆触の違いなどから様々な感じを生み出すことを独自に工夫している。 鑑 ：自分や友達との活動のよさやおもしろさに気づき、積極的に話し合っている。	教師 ：画用紙(発展として段ボールやロール紙、全判の白ボール紙)、太筆(発展として刷毛)、パケツ 児童 ：水彩絵の具一式、タオル	
4時間 教科書 p.10	A表現(2) ア、イ、 ウ (工作) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なものの見 方や考え方、造形 感覚を養う	カラフルねん土 のお店へようこそ	「紙ねん土で、使ったのしいものの形や色をくふうする」ことを通して、形や色、方法や材料を工夫する力を培う	軽量紙粘土に絵の具を練り込み、柔らかな色調の粘土をつくる。その色や質感を楽しみながら形や色の組み合わせを工夫し、生活に使えるものをつくる。 〔共通事項〕との関連 色のついた紙粘土を使った活動を通して、形や色、質感などの感じをとらえ、これをもとに自分のイメージをもつ。	関 ：紙粘土でお店に並べる品物をつくることを楽しむ。 発 ：お店に並べて楽しい品物を思いつく。 創 ：品物の形や色の組み合わせを工夫する。 鑑 ：みんなの作品のよさやおもしろさを見つける。	関 ：紙粘土でお店に並べる品物をつくることを楽しんでいる。 発 ：お店に並べて楽しい品物を意欲的に思いついている。 創 ：品物の形や色の組み合わせを工夫している。 鑑 ：みんなの作品のよさやおもしろさを見つけている。	教師 ：軽量紙粘土、粘土板、粘土べら、延べ棒、厚紙、色画用紙、竹ひご、ひも、モール 児童 ：水彩用具一式、保温用のタオル、ビニル袋、思いついた用具、支持体となる材料(空き容器、厚紙)、身近材	
2-4時間 教科書 p.11	A表現(2) ア、イ、 ウ (絵) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なものの見 方や考え方、造形 感覚を養う	友だちといっ しょに	「表したい場面のかき方をくふうする」ことを通して、形や色、方法や材料を工夫する力を培う	生活の場を発想の原点としてかく絵画題材である。モチーフとしては自分の生活の中での出来事を思い出しかくということがねらいである。 ここでは自分と友達が登場することになる。人物の動きや人物のいる空間のとらえ方は大切な表現要素であるが、3段階では試しながら表すことを大切にしたい。 〔共通事項〕との関連 友達といっしょに活動したことを思い浮かべて、自分や友達の色や形をとらえ、それをもとに自分のかきたい絵のイメージをもつ。	関 ：友達といっしょに活動した経験の中で心に残ったことを思い浮かべることを楽しみ、その様子が表れるようにかく。 発 ：友達といっしょに経験したことから表したいことを思いつき、活動の様子や人の動きなどをどのように表そうか考える。 創 ：水彩絵の具の扱いを試みながら、表し方を工夫する。 鑑 ：表したいテーマや表し方の工夫について関心をもって友達がかいている過程やかいた絵を見る。	関 ：友達といっしょに活動した経験の中で心に残ったことを思い浮かべ、絵に表すことに強い関心を持ち、その様子を表すことを積極的に楽しんでいる。 発 ：友達といっしょに経験したことから表したいことを思いつき、活動の様子や人の動きなどをどのように表そうか意欲的に考えている。 創 ：水彩絵の具の扱いを進んで試みながら、効果的な表し方を工夫している。 鑑 ：友達がかいている過程やかいた絵を進んで見ながら、表したいテーマや表し方の工夫に強い関心をもって深く見ている。	教師 ：画用紙、画板 児童 ：水彩用具一式、タオル	
2時間 教科書 p.12	A表現(1) ア、イ、 ウ (造形遊び) B鑑賞(1) ア、イ	 自分らしい表現を 追求したり、発見 したりする	長——い紙、つ くって	「身近な場所で、紙の切り方やつなぎ方をためしたり、見つけたりする」ことを通して、試したり、見つけたり、考えたりして、思いつく力を培う	自分の体に巻きつけたり、身近な空間に造形的に働きかけたりすることにより、机上の活動では得られないダイナミックな活動をする。児童なりの遊び方、材料や空間への働きかけ方を工夫するようにする。 〔共通事項〕との関連 細長い紙をつなげたり、貼ったりする活動を通して、形や色、組み合わせなどの感じをとらえ、これをもとに自分のイメージをもつ。	関 ：細長い紙をたくさんつくり、その特徴を生かして遊ぶことを楽しむ。 発 ：細長い紙の量や感触、空間の特徴などから活動を思いつく。 創 ：切る、つなげるなど、思いに合わせて用具を活用する。 鑑 ：自分や友達との活動のよさやおもしろさに気づき、認め合う。	関 ：細長い紙をたくさんつくり、その特徴を生かして遊ぶことを楽しんでいる。 発 ：細長い紙の量や感触、空間の特徴などから活動を思いついている。 創 ：切る、つなげるなど、思いに合わせて用具を活用している。 鑑 ：自分や友達との活動のよさやおもしろさに気づき、認め合っている。	教師 ：セロハンテープ、粘着テープ、必要に応じて脚立など台になるもの 児童 ：古新聞紙(3日分くらい)、折り込み広告の紙、包装紙、はさみ	

時間数 ページ	学習指導 要領との 関連	図画工作科を通し て育てたい力	題材名	題材の課題・目標	題材の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点（規準）	B評価の基準	A評価の基準	用具・材料
2-4時間 教科書 p.13	A表現(2) ア、イ、 ウ (絵) B鑑賞(1) ア、イ	 自分らしい表現を 追求したり、発見 したりする	ようこそ、キラ キラのせかいへ	「光をはんしゃする紙の 組み合わせをためした り、見つけたりして、表 したいことを思いつく」 ことを通して、試した り、見つけたり、考えた りして、思いつく力を培 う	光を反射する材料の美しさから想像を広げ、貼り絵 にする内容である。あらかじめ児童の身のまわりにあ るキラキラ光る材料を集めさせておく。集めた材料の 美しさや形からイメージを広げ、物語、空想的、装 飾的に平面的な世界として表現していく。 〔共通事項〕との関連 キラキラ光る材料の特徴から、形や色の組み合わせ をとらえ、自分の表したいもののイメージをもつ。	関：光を反射する材料に興味をもち、 それらを生かした表現を楽しむ。 発：材料の形や色からイメージを広 げ、自分が表現したいものやことを思 いつく。 創：材料の組み合わせや重なり、形や 色、触感を生かした表現を工夫する。 鑑：キラキラ光る材料を生かした各自 の表現の特徴やよさ、違いなどに気づ く。	関：光を反射する材料に興味をもち、それら を生かした表現を楽しんでいる。 発：材料の形や色からイメージを広げ、表現 したいものやことを思いついている。 創：材料の組み合わせや重なり、形や色、触 感を生かした表現を工夫している。 鑑：キラキラ光る材料を生かした各自の表現 の特徴やよさ、違いなどに気づいている。	関：光を反射する材料に強い興味や関心をもち、 それらを生かした表現を積極的に楽しんでいる。 発：材料の形や色から豊かにイメージを広げ、表 現したいものやことを次々と思いついている。 創：材料の組み合わせや重なり、形や色、触感を 生かした表現を効果的に工夫している。 鑑：キラキラ光る材料を生かした表現の特徴やよ さ、違いなどに深く気づき、積極的に交流してい る。	教師：アルミホイル、カ ラーホイルテープ、厚紙 台紙、化学接着剤、画板 児童：金色や銀色など を使った包装紙や色紙、そ の他キラキラ光る材料、 はさみ、接着剤
4時間 教科書 p.14	A表現(2) ア、イ、 ウ (工作) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なものの見 方や考え方、造形 感覚を養う	光と色のファン タジー	「光とかげの美しさを生 かしたかざりのつくり方 をくふうする」ことを通 して、形や色、方法や材 料を工夫する力を培う	色厚紙または空き箱にトレーシングペーパーや和紙 を貼ってスクリーンをつくり、3cm幅程度のテープ状 に切った片面段ボールや画用紙で好きな形をつくって 断面接着する。その上に光の効果を考えながら色セロ ハンなどを貼る。光を透過させることで微妙に変化す る美しさを感じながら表現を高めていく。 〔共通事項〕との関連 自分の感覚や活動を通して、形や色、組み合わせな どの感じをとらえ、これをもとに自分のイメージをも つ。	関：光と影の美しさを生かして、飾る ものをつくることを楽しむ。 発：紙テープや色セロハンの形や色の 組み合わせを考えて、飾りを構想す る。 創：材料を試したり、つくり方を考え たりして工夫する。 鑑：自分や友達の表し方の違いを見つ けながら、自分の表し方に取り入れて いる。	関：光と影の美しさを生かして、飾るものをつく ることを楽しんでいる。 発：紙テープや色セロハンの形や色の組み合 わせを考えて、飾りを構想している。 創：表したいイメージになるように材料を試 したり、つくり方を考えたりして工夫してい る。 鑑：自分や友達の表し方の共通点や違いを見つ けながら、自分の表し方に取り入れてい る。	関：光と影の美しさを生かして、飾るものをつく ることを積極的に楽しんでいる。 発：紙テープや色セロハンの形や色の組み合 わせを進んで考え、飾りを豊かに構想している。 創：自分の表したいイメージになるように材料を 意欲的に試したり、つくり方をいろいろな考え たりして工夫している。 鑑：自分や友達の表し方の共通点や違いを見つ けながら、積極的に自分の表し方に取り入れたり、 話し合ったりしている。	教師：厚紙、片面段ボ ール、色セロハン、トレ ーシングペーパーか和紙、 カッターナイフ、カッ ターマット 児童：空き箱、定規、接 着剤、おはじきなどの光 を透過するときれいだと 思われる身辺材、はさ み、鉛筆
4時間 教科書 p.15	A表現(2) ア、イ、 ウ (工作) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なものの見 方や考え方、造形 感覚を養う	※ 小さな箱の物語	「思いついた物語を箱の 中に表すくふうをする」 ことを通して、形や色、 方法や材料を工夫する力 を培う	牛乳パックを半分に切った大きさの箱の中に、紙粘 土や身近な材料をもとに自分の想像した世界を楽しみ ながら表す。複数個つくって季節の移り変わりを表し たり、一つの箱を一つの部屋に見立てたりして、組み 合わせを工夫したりすることも可能である。 〔共通事項〕との関連 小さな箱の中に世界をつくる活動を通して、身近な 材料の形や色、それぞれの組み合わせなどの感じをと らえ、これをもとに自分のイメージをもつ。	関：箱の中の世界をつくることを楽し む。 発：箱の中に表す世界を思いつく。 創：いろいろな材料の使い方を工夫す る。 鑑：友達の作品のよさやおもしろさを見 つける。	関：箱の中の世界をつくることを楽しんで いる。 発：箱の中に表す世界を思いついている。 創：いろいろな材料の使い方を工夫してい る。 鑑：友達の作品のよさやおもしろさを見つ けている。	関：箱の中の世界をつくることを進んで楽しんで いる。 発：箱の中に表す世界を意欲的に思いついて いる。 創：いろいろな材料の使い方を思いに合 わせて効果的に工夫している。 鑑：材料の効果的な使い方をとらえ、友達の作品 のよさやおもしろさを積極的に見つけている。	教師：紙粘土、色画用 紙、カッターナイフ、 カッターマット、両面 テープ 児童：牛乳パック(数 個)、カラーペン、色紙や 身辺材、接着剤、はさ み、セロハンテープ
2時間 教科書 p.16-17	A表現(2) ア、イ、 ウ (立体) B鑑賞(1) ア、イ	 自分らしい表現を 追求したり、発見 したりする	にぎって、ひ ねって、ひらめ いて	「ねん土でつくり方をた めしたり、見つけたりし て、表したい世界を思 いつく」ことを通して、試 したり、見つけたり、考 えたりして、思いつく力 を培う	土粘土の触感を味わいながら、粘土を手でねじった り穴を開けたり、のぼしたりなどの様々な操作をし て、見つけた形から表したい「世界」を思いついてつ くる。 〔共通事項〕との関連 自分の感覚や手を十分に働かせて粘土を様々な操作 しながら、触感や形の組み合わせの感じをとらえ、こ れをもとに表したい世界のイメージをもつ。	関：手や体で粘土に働きかけ、粘土の 感触を味わい、自分の感覚を働かせな がら粘土と関わることに興味や関心を もつ。 発：粘土の感触や働きかけてできた形 やテクスチャーからイメージを広げ、 表したい世界や場所などを思いつく。 創：握る、ひねる、引っかくなど、手 の様々な部分を使い、手の動かし方を 工夫して新しい形を発見し表す。 鑑：友達や自分のよさや違いに気づ き、互いに認め合う。	関：手や体で粘土に働きかけ、粘土の感触を 味わい、自分の感覚を働かせながら粘土と関 わることに興味や関心をもっている。 発：粘土の感触や働きかけてできた形やテク スチャーからイメージを広げ、表したい世界 や場所などを思いついている。 創：握る、ひねる、引っかくなど、手の様 々な部分を使い、手の動かし方を工夫して新 しい形を発見し表している。 鑑：友達や自分のよさや違いに気づき、互 いに認め合っている。	関：手や体で粘土に働きかけ、粘土の感触を積極 的に味わい、自分の感覚を働かせながら粘土と関 わることに強い興味や関心をもっている。 発：粘土の感触や働きかけてできた形やテクス チャーから豊かにイメージを広げ、表したい世界 や場所などを意欲的に思いついている。 創：握る、ひねる、引っかくなど、手の様 々な部分を十分に使い、手の動かし方をいろいろ工夫 して新しい形を発見し、効果的に表している。 鑑：友達や自分の様々なよさや違いに気づき、互 いに深く認め合っている。	教師：彫塑用粘土(一人2 kg 焼成の場合は1 kg)、粘土板、粘土べら 児童：汚れてもよい服 装、タオル

時間数 ページ	学習指導 要領との 関連	図画工作科を通し て育てたい力	題材名	題材の課題・目標	題材の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点（規準）	B評価の基準	A評価の基準	用具・材料
4時間 教科書 p.20-21	A表現(2) ア、イ、 ウ (立体) B鑑賞(1) ア、イ	 自分らしい表現を 追求したり、発見 したりする	こんにちは、ふ わふわさん	「やわらかいざいりょう でつくり方をためした り、見つけたりして、つ くりたいものを思いつ く」ことを通して、試し たり、見つけたり、考え たりして、思いつく力を 培う	綿や毛糸などの柔らかい材料を集め、見たり、触つ たりしたときの特徴を生かして、材料の組み合わせを 自分なりに試みながら、思いついたものを工夫してつ くる内容である。いろいろな柔らかい材料を集め、つ くりたいものや身近な場所のどこに置かなどを考え ながらつくる。厚紙などの台紙に貼りつけたり、箱な どを利用したりして立体的につくことも考えられ る。 〔共通事項〕との関連 材料の感触や特徴から、形や色、組み合わせなどの 感じをとらえ、これをもとに自分のつくりたいものの イメージをもつ。	関 ：綿や毛糸などの柔らかい材料を組み 合わせていろいろなつくり方を試み ながら、思いついたものをつくること を楽しむ。 発 ：柔らかい材料を見たり、触ったり した感じから発想を広げて、つくりた いものを考える。 創 ：材料の形や色、材質感の組み合わ せの美しさやおもしろさを生かしなが ら、つくり方を工夫する。 鑑 ：お互いの作品の表し方の違いやよ さに関心をもって見る。	関 ：柔らかい材料の特徴に関心を持ち、組み 合わせなど、つくり方を試みながら、思いつ いたものをつくることを楽しんでいる。 発 ：材料を見たり、触ったりした感じから発 想を広げて、つくりたいものを考えている。 創 ：材料の形や色、材質感の組み合わせの美 しさやおもしろさを生かそうと工夫してい る。 鑑 ：お互いの作品の表し方の違いやよさに関 心をもって見ている。	関 ：柔らかい材料の特徴に強い関心を持ち、組み 合わせなど、つくり方を試みながら、思いついた ものをつくることを積極的に楽しんでいる。 発 ：材料を見たり、触ったりした感じから豊かに 発想を広げて、つくりたいものを進んで考えてい る。 創 ：材料の形や色、材質感の組み合わせの美しさ やおもしろさを効果的に生かそうと工夫してい る。 鑑 ：お互いの作品の表し方の違いやよさに強い関 心をもって見たり、積極的に話し合ったりしてい る。	教師 ：接着剤、場合に よって段ボールカッター やカッターナイフ、カッ ターマット、厚紙 児童 ：綿や毛糸、スポン ジなどの柔らかい材料、 はさみ、場合によって紙 箱や紙コップなど芯にな りそうなもの
4時間 教科書 p.22	A表現(2) ア、イ、 ウ (絵) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なものの見 方や考え方、造形 感覚を養う	にじんで広がる 色の世界	「にじみでできた形や色 の組み合わせ方をくふう する」ことを通して、形 や色、方法や材料を工夫 する力を培う	クレヨンで形の枠をかき、その枠の中に水で多めに 溶いた絵の具をたらしてにじみをつくる。クレヨンが 水をはじく性質をもとに、枠の形とその中にできたに じみの表現を生かし、自分の想像した世界を表す。 〔共通事項〕との関連 にじみでできた形や色、組み合わせなどの感じをも とに自分のイメージをもつ。	関 ：にじみの色を生かしてかくことを楽しん でいる。 発 ：にじんでできる模様を増やしなが ら、お話を思いつく。 創 ：にじんでできる模様の形や色の組 み合わせを工夫する。 鑑 ：みんながつくったにじみの形や 色、お話のおもしろさを見つめる。	関 ：にじみの色を生かしてかくことを楽しん でいる。 発 ：にじんでできる模様を増やしなが ら、お話を思いついている。 創 ：にじんでできる模様の形や色の組み合 わせを工夫している。 鑑 ：みんながつくったにじみの形や色、お話 のおもしろさを見つけている。	関 ：にじみの色を生かしてかくことを進んで楽し んでいる。 発 ：にじんでできる模様を次々に増やしなが ら、お話を発展的にふくらませ、思いついている。 創 ：にじんでできる模様の形や色の組み合わせを お話に合わせて効果的に工夫している。 鑑 ：効果的な表現をとらえ、みんなのつくったに じみの形や色、お話のおもしろさを見つけ、積極 的に話し合っている。	教師 ：画用紙、色画用紙 (四つ切り、八つ切り) 児童 ：水彩用具一式、ク レヨン、カラーペン、エ ブロンやスモック
2時間 教科書 p.23	B鑑賞(1) ア、イ	 造形表現活動の快 さや楽しさを経験 させ、相互理解を 図る	タッチ、キャッ チ、さわりごこ ち	「ざいりょうのさわりが ごちのちがいをたのしん だり、味わったりする」 ことを通して、心を開 き、楽しく活動し、友達 と関わり合う力を培う	触った感じの違う材料を同じ種類ごとに台紙に並べ て貼り、様々な触り心地のカードをつくる。友達とそ れぞれのカードの触り心地の違いを見つけ、いろい ろな仲間分けをしていく。友達と話すことによつて、互 いの感じ方の違いに気づいたり、材料の質感のよさや おもしろさを見つけたりする。 〔共通事項〕との関連 自分の感覚や活動を通して、いろいろな触り心地を とらえ、これをもとに自分のイメージをもつ。	関 ：いろいろな触り心地を楽しむ。 発 ：触り心地から、いろいろな仲間分 けを思いつく。 創 ：台紙への貼り方を工夫する。 鑑 ：いろいろな触り心地の違いを見つ ける。	関 ：いろいろな触り心地を楽しんでいる。 発 ：触り心地から、独創的にいろいろな仲間分け を思いついている。 創 ：台紙への貼り方を工夫している。 鑑 ：いろいろな触り心地の違いを見つけてい る。	関 ：いろいろな触り心地を進んで楽しんでいる。 発 ：触り心地から、独創的にいろいろな仲間分け を思いついている。 創 ：いろいろな触り心地がわかるように効果的な 台紙への貼り方を工夫している。 鑑 ：いろいろな触り心地の違いを見つけ、その違 いについて積極的に話している。	教師 ：台紙(約10cm四方に 切った画用紙、または色 画用紙)、接着剤、カッ ターナイフ、カッター マット 児童 ：はさみ、触り心地 の異なる身辺材
2時間 教科書 p.24-25	A表現(1) ア、イ、 ウ (造形遊び) B鑑賞(1) ア、イ	 造形表現活動の快 さや楽しさを経験 させ、相互理解を 図る	いつもの場所で	「身近な場所で、友だち と力を合わせて活動する ことをたのしむ」ことを 通して、心を開き、楽し く活動し、友達と関わり 合う力を培う	自然の材料や身近な場所との触れ合い、関わりを通 して、自然の材料を試したり、場所のよさを見つけた りする。選んだ場所や自然材料の形や色、大きさや 量、材質などを生かしながら活動を進める。場所や材 料に働きかけ、それらから感じたことをもとに、さら に工夫して活動を深めていく。 〔共通事項〕との関連 友達と協力して身近な場所に働きかけ、自分の感覚 や活動を通して形や色、組み合わせなどの感じをとら え、これをもとに自分のイメージをもつ。	関 ：身近な場所や自然材料に関心を もち、思いついた活動を楽し む。 発 ：自然材料や身近な場所に関わり、 それら进行操作したり、構成したりする 方法を考える。 創 ：広さや起伏など活動する場所の特 徴や、自然材料の形や色などを生かし て、工夫して活動する。 鑑 ：自然材料や場所を生かした活動の よさや、自他の考えのおもしろさを味 わう。	関 ：身近な場所や自然材料に関心もち、思 いついた活動を楽しんでいる。 発 ：自然材料や身近な場所に関わり、それら 进行操作したり、構成したりする方法を考えて いる。 創 ：広さや起伏など活動する場所の特徴や、 自然材料の形や色などを生かして活動してい る。 鑑 ：自然材料や場所を生かした活動のよさ や、自他の考えのおもしろさを味わって いる。	関 ：身近な場所や自然材料に強い関心もち、積 極的に楽しんでいる。 発 ：自然材料や身近な場所に関わり、それら 进行操作したり、構成したりする方法を意欲的に考 えている。 創 ：広さや起伏など活動する場所の特徴や、自然 材料の形や色などを効果的に生かして活動してい る。 鑑 ：自然材料や場所を生かした活動のよさや、自 他の考えのおもしろさを深く味わい、積極的に話 し合っている。	教師 ：草や木、枝などの 自然材料、麻ひもや縄、 紙の粘着テープ 児童 ：草や木、枝などの 自然材料

時間数 ページ	学習指導 要領との 関連	図画工作科を通し て育てたい力	題材名	題材の課題・目標	題材の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点（規準）	B評価の基準	A評価の基準	用具・材料
2-4時間 教科書 p.26-27	A表現(2) ア、イ、 ウ (絵) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なものの見 方や考え方、造形 感覚を養う	ふしぎな乗りもの	「身近なものから思いついた乗りもののかき方をくふうする」ことを通して、形や色、方法や材料を工夫する力を培う	身近なものを乗り物に見立てることから発想を広げ、自分の表したいことを見つけてかくことを通して、材料や用具の特徴を生かしながら表す楽しさを味わう内容である。身近にあるものが乗り物になったことを想像しながら、表したい思いをもつ。材料や用具の特徴を生かし、表し方を工夫しながらかく。 〔共通事項〕との関連 身近な形から不思議な乗り物を思い浮かべて、思い浮かべた形や色をもとに、自分の表したい乗り物のイメージをもつ。	関 ：身近なものから想像をふくらませ、自分の思いを表すことを楽しむ。 発 ：身近なものから得たイメージをもとに、自分のかきたい思いや構想をもつ。 創 ：自分の思いに合わせて、今までに経験した表し方を生かしたり、材料や用具を工夫したりしてかく。 鑑 ：自分や友達作品を見合ったり、それについて話し合ったりしながら、表し方のおもしろさや感じの違いがわかる。	関 ：身近なものから想像をふくらませ、自分の思いを表すことを楽しんでいる。 発 ：身近なものから得たイメージをもとに、自分のかきたい思いや構想をもっている。 創 ：自分の思いに合わせて、今までに経験した表し方を生かしたり、材料や用具を工夫したりしてかいている。 鑑 ：自分や友達作品を見合ったり、それについて話し合ったりしながら、表し方のおもしろさや感じの違いをわかっている。	関 ：身近なものから豊かに想像をふくらませ、自分の思いを表すことを積極的に楽しんでいる。 発 ：身近なものから得たイメージをもとに、自分のかきたい思いや構想を意欲的にもっている。 創 ：自分の思いに合わせて、今までに経験した表し方を効果的に生かしたり、材料や用具を十分に工夫したりしてかいている。 鑑 ：自分や友達作品を見合ったり、それについて積極的に話し合ったりしながら、いろいろな表し方のおもしろさや感じの違いを深く理解している。	教師 ：画用紙、発想のものととなるもの 児童 ：水彩用具一式、クレヨン、、パス、カラーペン
2時間 教科書 p.28	A表現(1) ア、イ、 ウ (造形遊び) B鑑賞(1) ア、イ	 造形表現活動の快 さや楽しさを経験 させ、相互理解を 図る	だんだんだん ボール	「だんボール箱を使って、友だちと力を合わせて活動することをたのしむ」ことを通して、心を開き、楽しく活動し、友達と関わり合う力を培う	いろいろな形や大きさの段ボール箱を重ねたり並べたりするなど、体全体で関わりながら材料に親しむ。材料や場所のよさから思いついたり、友達と話し合ったりしながら活動する。今までの経験を生かし、用具を選ぶなどして、工夫しながらついたり、つくり替えたりする。 〔共通事項〕との関連 活動する場所に合わせて段ボールを重ねたり、並べたりする行為を通して、形や色の組み合わせや自分でしたい活動のイメージをもつ。	関 ：段ボール箱や活動している場所から感じることをもとに活動する喜びを味わう。 発 ：材料や場所から得たイメージをもとに、自分のやりたい思いをもつ。 創 ：活動する場所のよさや今までの経験を生かしながら、材料を積んだり、重ねたり、組み合わせたり、つないだりするなど工夫して活動する。 鑑 ：材料や場所のよさを感じ取ったり、自分や友達の活動を見合ったり話し合ったりしながら、表し方のおもしろさや感じの違いがわかる。	関 ：段ボール箱や活動している場所から感じることをもとに活動する喜びを味わおうとしている。 発 ：材料や場所から得たイメージをもとに、自分のやりたい思いを意欲的にもっている。 創 ：活動する場所のよさや今までの経験を様々な生かしながら、効果的に材料を積んだり、重ねたり、組み合わせたり、つないだりするなど、いろいろな工夫をして活動している。 鑑 ：材料や場所のよさを深く感じ取ったり、自分や友達の活動を見合ったり話し合ったりしながら、表し方のおもしろさや感じの違いをよく理解している。	教師 ：段ボール箱、段ボールカッター、粘着テープ 児童 ：段ボール箱	
2-4時間 教科書 p.29	A表現(1) ア、イ、 ウ (工作) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なものの見 方や考え方、造形 感覚を養う	タイヤをつけて 出発進行!!	「タイヤで転がるしくみを使った動くおもちゃをくふうする」ことを通して、形や色、方法や材料を工夫する力を培う	身近な材料にタイヤをつけて走り出す仕組みを生かして動くおもちゃをつくり、走らせて楽しむ内容である。 意外なものが走るとおもしろいという発想の広がりを期待したい。 〔共通事項〕との関連 タイヤをつけて動くく仕組みから、思いついた形や色の組み合わせを考えて、自分のつくりたいおもちゃのイメージをもつ。	関 ：タイヤをつけて動かして楽しむことに興味や関心をもつ。 発 ：動く様子や材料の特徴などからどんなものが走ると楽しいか考える。 創 ：車軸やタイヤのつけ方、材料などを工夫して、よく走るようにつくる。 鑑 ：友達の作品や発想の楽しさなどに関心を持ち、いっしょに動かして遊ぶ。	関 ：タイヤをつけて動かすことに興味や関心を持ち、楽しんでいる。 発 ：動く様子や材料の特徴などからどんなものを走らせると楽しいか考えている。 創 ：車軸やタイヤのつけ方、材料などを考えて、よく走るように工夫している。 鑑 ：友達の作品や発想の楽しさなどに関心を持ちながら、いっしょについたり、遊んだりしている。	関 ：タイヤをつけて動かすことに強い興味や関心を持ち、積極的に楽しんでいる。 発 ：動く様子や材料の特徴などからどんなものを走らせると楽しいかよく考え、豊かに発想している。 創 ：車軸やタイヤのつけ方、材料などを意欲的に考えて、よく走るように効果的な工夫をしている。 鑑 ：友達の作品や発想の楽しさなどに強い関心を持ちながら、いっしょについたり、積極的に遊んだりしている。	教師 ：目打ち、カッターマット、段ボール、紙粘土、竹ひご 児童 ：はさみ、接着剤、テープ、ペットボトルのふた(4個以上)、洗濯ばさみ各種、身辺材
4-6時間 教科書 p.30-31	A表現(2) ア、イ、 ウ (絵) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なものの見 方や考え方、造形 感覚を養う	でこぼこもよ うのなかまたち	「はんのつくり方や写し方をくふうする」ことを通して、形や色、方法や材料を工夫する力を培う	ここでは、厚紙や身近にある材料を使って版をつくり、写し方を試しながらいろいろな表し方を工夫していく内容である。 また、版をついたり、写したりすることから想像を広げ、自分なりに表現を追求していく。 〔共通事項〕との関連 版をつかって写す活動を通して、版の形や色の組み合わせをとらえ、これをもとに自分の表したいイメージをもつ。	関 ：版をついたり、写したりすることに関心を持ち、いろいろな表し方を楽しむ。 発 ：版をついたり、写したりすることから想像を広げ、お話を構想する。 創 ：写すことを繰り返しながら、材料の形や色の組み合わせ、写し方を工夫する。 鑑 ：自分や友達の発想のおもしろさ、表現のよさや工夫を味わう。	関 ：版をついたり、写したりすることに関心を持ち、いろいろな表し方を楽しんでいる。 発 ：版をついたり、写したりすることから想像を広げ、お話を構想している。 創 ：写すことを繰り返しながら、材料の形や色の組み合わせ、写し方を工夫している。 鑑 ：自分や友達の発想のおもしろさ、表現のよさや工夫を味わっている。	関 ：版をついたり、写したりすることに強い関心を持ち、いろいろな表し方を積極的に楽しんでいる。 発 ：版をついたり、写したりすることから豊かに想像を広げ、意欲的にお話を構想している。 創 ：写すことを繰り返しながら、材料の形や色の組み合わせ、写し方を効果的に工夫している。 鑑 ：自分や友達のいろいろな発想のおもしろさ、表現のよさや工夫を深く味わっている。	教師 ：スポンジローラー、版画インク、練り板、版画用紙、厚紙 児童 ：身辺材(ひも、ネット、毛糸、布など)、はさみ、接着剤、新聞紙

時間数 ページ	学習指導 要領との 関連	図画工作科を通し て育てたい力	題材名	題材の課題・目標	題材の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点（規準）	B評価の基準	A評価の基準	用具・材料
2時間 教科書 p.32-33	A表現(2) ア、イ、 ウ (絵) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なものの見 方や考え方、造形 感覚を養う	形と色でショート チャレンジ ひみつのへんし んショー	「自分マーク」やすき なものの場面や形などの へんかをくふうする」こ とを通して、形や色、方 法や材料を工夫する力を 培う	「自分マーク」や好きなものからお話しなどを考 えて複数の透明シートにそれぞれの場面や形などをか く。それらを重ね合わせて画面の変化を楽しみながら 表現する。あるいは、「自分マーク」や好きなものを 2回折りした画用紙にかく。画用紙を開いたときの画 面の変化を考え、新たなものごとをかき加えて表現す る。 〔共通事項〕との関連 形や色、場面や状況を変えることにより表現するも ののイメージや感じが変わることの楽しさを知る。	関：「自分マーク」や好きなものからお話しなど をお話しなどを考え、形や色、場面や状 況の変化を楽しむ表現に興味や関心をも つ。 発：「自分マーク」や好きなものからお話し などを考え、形や色、場面や状況の変化を楽し む表現を思いついている。 創：形や色、場面や状況を変化させる方法を 工夫して表現している。 鑑：形や色、場面や状況を変化させて表現す ることの楽しさと方法に気づいている。	関：「自分マーク」や好きなものからお話しなど を考え、形や色、場面や状況の変化を楽し む表現に興味や関心をもっている。 発：「自分マーク」や好きなものからお話しな どを考え、形や色、場面や状況の変化を楽し む表現を思いついている。 創：形や色、場面や状況を変化させる方法を 工夫して表現している。 鑑：形や色、場面や状況を変化させて表現す ることの楽しさと方法に気づいている。	教師：透明シート、画用 紙、セロハンテープ 児童：カラーフェルトペ ン、クレヨン、パス	
2-4時間 教科書 p.34-35	A表現(2) ア、イ、 ウ (絵) B鑑賞(1) ア、イ	 造形表現活動の快 さや楽しさを経験 させ、心を開く	のこぎりひい て、ザク、ザ ク、ザク	「のこぎりで角ざいなど を切ったり、木切れを組み 合わせたりすることを たのしむ」ことを通し て、心を開き、楽しく活 動する力を培う	のこぎりで角材を切り、形を組み合わせで思いつい たものをつくって楽しむ内容である。 のこぎりを使い、木と関わっている実感や切ること に夢中になる遊びの感覚を大切にしながら、たる木や 小割などをいろいろな形に切る。切った木切れを組み 合わせてできた形から想像を広げ、組み立てて接着す る。 〔共通事項〕との関連 木切れの形や色、それらの組み合わせを試しなが ら、それらが作り出す形の感じをとらえ、自分なり のイメージをもつ。	関：木の感触に親しみながら、用具を使 って角材を切り、組み合わせでつく ることに関心をもつ。 発：切り取ってできる形や組み合わせ てできる形から、つくりたいもの の発想を広げる。 創：用具の扱いに慣れ親しみながら、 工夫してつくる。 鑑：友達作品に関心をもって見、よ いところを見つける。	関：木の感触に親しみながら、用具を使 って木を切り、組み合わせでつく ることに強い関心をもっている。 発：切り取ってできる形や組み合わせ てできる形から、つくりたいもの の発想を豊かに広げている。 創：用具の扱いに慣れ親しみながら、 独自に工夫してつくっている。 鑑：友達作品に関心をもって見、よ いところを見つけている。	教師：角材(たる木や小 割)、板材、のこぎり、紙 やすり、木工用接着剤 児童：木片、身辺材、カ ラーペン	
2-4時間 教科書 p.36	A表現(2) ア、イ、 ウ (絵) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なものの見 方や考え方、造形 感覚を養う	にこここべんと うペタンコロ ンチ	「自分がつくってみたい おべんとうをくふうす る」ことを通して、形や 色、方法や材料を工夫す る力を培う	実際の生活場面でもよいし夢の活動でもよい。「つ くってみたい、持っていききたいお弁当づくり」をキー ワードにしてつくりたいものを思いつき、紙を使って つくることの楽しさを味わう。 平面的な構成で十分であるが、無理のない造形的な 操作によって半立体的な表現を工夫してもよい。 〔共通事項〕との関連 つくりたいことを見つけ、紙の特徴を生かしなが ら、形や色をとらえ、自分の好きなものやつくりたい もののイメージをもつ。	関：思いついたものを紙でつくること に興味や関心をもつ。 発：自分が好きなものやつくりたいも のを考える。 創：紙を材料に、形や色を工夫してつ くる。 鑑：友達と作品を見せ合い、互いのよ さやおもしろさに気づく。	関：思いついたものを紙でつくることに強い興味 や関心もち、楽しんでいる。 発：自分が好きなものやつくりたいもの を考えている。 創：紙を材料に、形や色を工夫してつ くっている。 鑑：友達と作品を見せ合い、互いのよ さやおもしろさに気づいている。	教師：画用紙(大きさ、色 は様々)、あるいは色厚 紙、場合によっては接着 剤 児童：はさみ、のり、身 辺材	
4時間 教科書 p.37	A表現(2) ア、イ、 ウ (立体) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なものの見 方や考え方、造形 感覚を養う	くつ下や手ぶく ろにまほうをか けると	「くつ下や手ぶくろなど の組み合わせ方をくふう する」ことを通して、形 や色、方法や材料を工夫 する力を培う	靴下や手袋など布の材料の特徴を生かして思いつい たものを楽しみながらつくる。身近にある靴下や手袋 などの布製品に新聞紙などを詰めたり、ひもなどで結 んだりして、材料に魔法をかけたように形を変えてい く。そのような造形的な操作をすることで形が変わっ ていくことに関心もちながら発想を広げ、材料を組み 合わせて自分の好きな形をつくることを楽しませたい。 〔共通事項〕との関連 布を造形的に操作する活動から、形や色、組み合わ せなどの感じをとらえ、これをもとに自分の表したい イメージをもつ。	関：靴下や手袋などの材料の形が変 わっていくことに関心もち、楽しく つくる。 発：靴下や手袋に新聞紙などを詰めた り、ひもなどで結んだりした形から発 想を広げて、つくりたいもの を考える。 創：材料の形を変えたり、組み合わせ たりなどいろいろ試みながら、材料を 生かして自分の好きな形をつくろうと 工夫をしている。 鑑：身のまわりの布製品が作品に变身 するおもしろさ、活動のよさや違いに 気づき、お互いの工夫を交流する。	関：靴下や手袋などの材料の形が変 わっていくことに強い関心もち、つ くることを積極的に楽し んでいる。 発：靴下や手袋に新聞紙などを詰め たり、ひもなどで結んだりした形から 豊かに発想を広げ、つ くりたいものを考えている。 創：材料の形を変えたり、組み合わ せ方などいろいろ試みながら、効果 的に材料を生かして自分の好きな形 をつくろうと工夫をしている。 鑑：身のまわりの布製品が作品に 变身するおもしろさ、活動のよさや 違いによく気づき、進んで工夫を 交流している。	教師：木工用接着剤、化 学接着剤、針金ハン ガー、モール 児童：身のまわりの布製 品(軍手、靴下、古着な ど)、ひも類(毛糸、リボ ンなど)、輪ゴム、新聞 紙、ボタンやおはじき、 はさみ、接着剤	

時間数 ページ	学習指導 要領との 関連	図画工作科を通し て育てたい力	題材名	題材の課題・目標	題材の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点（規準）	B評価の基準	A評価の基準	用具・材料
4-6時間 教科書 p.38-39	A表現(2) ア、イ、 ウ (工作) B鑑賞(1) ア、イ	 造形表現活動の快 さや楽しさを経験 させ、相互理解を 図ったり、総合的 な造形表現活動を 経験させたりする	みんなで オン・ステージ	「身近なざいりょうで、 げんがつきをつくり、み んなでえんそうしてたの しむ」ことを通して、心 を開き、楽しく活動し、 友達と関わり合う力を培 う	これまでに経験してきた図画工作の力を働かせて、 つくるだけではなく、みんなで協力し合って演奏会を 楽しむなど、友達と関わりながら、総合的な造形表現 活動を経験する内容である。弦楽器をつくるに当たっ て、音の出る仕組みを理解し、輪ゴムと空き箱や容器 を使ってつくり、友達と演奏して楽しむ。 〔共通事項〕との関連 音の出る仕組みから、思いついたことをもとに自分 の感覚や活動を通して、形や色をとらえてつくりたい もののイメージをもつ。	関 ：輪ゴムと空き箱や容器で音の出る 弦楽器をつくることを楽しむ。 発 ：輪ゴムのかけ方やネックの取りつ け方、空箱や容器の特徴から発想し て、つくりたい弦楽器のイメージを広 げる。 創 ：音の出る仕組みとつくり方を理解 しながら、いろいろな用具を使い、弦 楽器をつくる。 鑑 ：友達と演奏しながら、自他の工夫 のおもしろさや楽しさを味わう。	関 ：輪ゴムと空き箱や容器で音の出る弦楽器 をつくることを楽しんでいる。 発 ：輪ゴムのかけ方やネックの取りつけ方、 空箱や容器の特徴から発想して、つくりたい 弦楽器のイメージを広げている。 創 ：音の出る仕組みとつくり方を理解しなが ら、いろいろな用具を使い、弦楽器をつく つている。 鑑 ：友達と演奏しながら、自他の工夫のおも しろさや楽しさを味わっている。	関 ：輪ゴムと空き箱や容器で音の出る弦楽器をつ くることが積極的に楽しんでいる。 発 ：輪ゴムのかけ方やネックの取りつけ方、空箱 や容器の特徴から豊かに発想して、意欲的につく りたい弦楽器のイメージを広げている。 創 ：音の出る仕組みとつくり方をよく理解しなが ら、いろいろな用具を効果的に使い、弦楽器をつ くっている。 鑑 ：友達と演奏しながら、自他の工夫のおもしろ さや楽しさを十分に味わっている。	教師 ：輪ゴム、クリッ プ、ヒートン、角材、 ラップの芯、段ボール、 カッターナイフ、カッ ターマット、色紙、色画 用紙、色厚紙(色造形 紙)、カラービニル袋 児童 ：はさみ、のり、空 き箱、空き容器、セロハ ンテープ、接着剤、身辺 材
教科書 p.2-4	B鑑賞 (1)ア、イ		小さな 美しゅつ館	「小さな美術館」では、各学年の発達や課題に即し たテーマを設定している。誌面にはテーマに関連する 作家作品のほか、児童作品や活動風景なども掲載し、 表現活動とのつながりにも配慮した。また、児童が興 味をもって作品と出合えるように、教師や友達が語り かける形で鑑賞の視点を示している。さらに、どの学 年においても1ページ大で扱う作品を取り上げ、教室 での鑑賞資料として活用できるようにした。 ここでは「やってみたいな」をテーマに、誰にでも 共感できるアイデアにあふれた作品を掲載した。作者 の個性的な発想や表現方法を楽しむとともに、夢や思 いを自分らしく表すことの大切さにも気づかせていき たい。					
教科書 p.6-7	B鑑賞 (1)ア、イ		ゆめをかたち に	児童がその学年で出会う材料や表現方法を使ってい る作家の作品と児童へのメッセージである。 ここでは、美術作家の吉田佳寿さんに登場していただ き、いろいろな色の魅力や色で表すことの可能性を 児童に呼びかけるような文で語ってもらった。					
教科書 p.18-19	A表現(2) ア、イ、 ウ(工 作)		ひらめきコー ナー	立体的、工作的な構造や、動かしたり飾ったりする 造形のもつ機能を楽しみながら、造形表現の経験を豊 かにしようとする内容である。身近な紙や紙製品を表 現材料とし簡単な操作を加えながら、形や色、大きさ や重さ、厚みや硬さ、丈夫さやもろさ、弾力性や光の 透過性、手触りや肌触りなど紙のいろいろな種類や性 質、特性などを感じ取らせたい。また同時に手先、指 先の働きや用具の扱いなど技能や技術に関わる能力を 高めることも期待できる。 絵や模様などを加飾したり、構造や仕組みの工夫、 遊び方や飾り方に児童の“ひらめき”が生きたりすと ころも多い。造形への関心や興味を高め、自由で豊か な表現を数多く経験させたい。 紙コップなどの本来の使用目的から離れて表現材料 として再利用することに関心を高め、収集や分解、保 管の方法などにも目を向けさせたい。					画用紙、色画用紙、造形 紙(色厚紙)、ケント紙、 紙コップ、糸、段ポー ル、はさみ、接着剤、の り

時間数 ページ	学習指導 要領との 関連	図画工作科を通し て育てたい力	題材名	題材の課題・目標	題材の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点（規準）	B評価の基準	A評価の基準	用具・材料
教科書 p.40-41	B鑑賞 (1)ア、イ		みんなの ギャラリー		暮らしを豊かで楽しいものにするために造形が果たす役割は大きい。そのために、児童が関心をもてるような行事や祭り、イベントなどを紹介している。 ここでは、「みんなでいっしょに」「教室を飛び出して」の二つのテーマでくくっている。				
教科書 p.42-43	A表現(2) ア、イ、 ウ（絵）		パレットコー ナー		各学年の発達段階において必要な描画材料の基本的な使い方を示した。ここでは、個人持ちの水彩絵の具の使い方、特にパレットや筆洗、筆の基本的な使い方を掲載している。また、絵の具は水の量を変えることによって、同じ色でも様々な色がつくれることを明示している。 パレットコーナーでは、全学年とも「造形コレクション」のコーナーを設け、児童が絵をかくときの発想・構想のヒントとして活用できるようにした。ここでは、「昔からのおもちゃ」として日本各地の伝承玩具を掲載している。				
教科書 p.44-45	A表現(2) ア、イ、 ウ（工 作）		道具箱		道具は、材料とともに造形活動になくてはならないものである。児童が自らの思いを実現させるために、道具の正しく合理的な使い方を知ることは大切なことである。そのための手引きとなるページである。 ここでは、のこぎりの使い方を中心に、小刀や段ボールカッターの使い方を掲載している。 また、「ざいりょうはたからもの」では、材料を集めることから造形活動は始まるという視点から、主に中学年で扱う材料を掲載している。				
裏表紙	B鑑賞 (1)ア、イ		見つけたよ、 すてきな 形・色		上巻では「見つけたよ、すてきな形・色」をテーマとして、学年に応じて、自然物や人工物の造形的に美しい写真を掲載している。 ここでは、水しぶきと貝殻の自然物、線香花火と色とりどりの金平糖の人工物の美しい形や色、模様を取り上げている。				